

## 人の手が入り 生徒が集う「集いの場」での紹介コーナーづくり

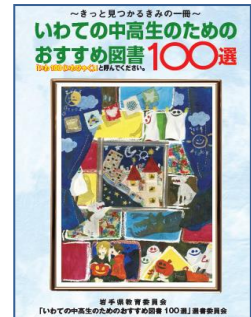
### 岩手県立山田高等学校（山田町）

#### 目的 趣旨

生徒の読書の量と質の向上を目指した「環境づくり」「仕組づくり」  
～ 環境づくりの一環としての「いわ100」コーナーづくり ～

#### 対象

全校生徒  
131人



#### 学校・児童・生徒の様子

岩手県立山田高等学校では、各学級2名で構成される図書委員会を設けています。

委員会活動として、貸出し業務をはじめ、図書の配架作業、図書館だよりの発行等、全校生徒の読書活動向上のための取組を継続的に行っています。

また、夏休みには「校内読書感想文コンクール」を開催し、図書館利用につながる課題図書や、郷土を知り郷土を支える人材育成を目指した課題図書を設定しています。

年度末には、生徒会誌・図書館報「さいかち」を発行し、年間の貸出冊数が多い生徒を紹介したり感想文等を掲載したりし、意欲の喚起につなげています。



【学校図書館の様子(蔵書:13,598冊)】

#### 取組概要

##### 【環境づくり】

生徒の読書の量と質の向上を図ることを意図して、「いわ100」をはじめとする、特設コーナーを設けています。

「いわ100」のコーナーでは、「いわ100」の図書を展示するだけでなく、「いわ100」本体も数冊置き、手に取りやすく、目に触れることができるよう工夫しています。また、いくつかの特設コーナーを同時に設けて、生徒の読書への興味を高め、図書館に集う環境づくりに努めています。



【「いわ100」コーナー】

##### 《各種コーナー》



【新着図書等コーナー】



【震災関連図書コーナー】



【校長先生おススメ図書】

先生方の提案によるコーナーもあります。

##### 【仕組づくり】

図書館に集う仕組づくりとして、独自の「校内読書感想文コンクール」等も活用しています。

具体的には、教員が生徒に育みたい力（自己の生き方を探求する力、郷土愛等）に基づいた課題図書を図書館に準備し、生徒が図書館に足を運ぶ仕組をつくりました。

そのような取組を通して、「いわ100」コーナー等を生徒が目にし、また更なる読書への関心を高めていくという好循環が生まれています。

【課題図書※第2学年は郷土史】



#### ● 学校から（取組の成果と今後について）

読書環境づくり及び仕組づくりによって、図書館を訪れる生徒の増加等、読書意欲の向上に手ごたえを感じています。今後は、ビブリオバトルの実施やボランティア団体や公立図書館等との連携等、新規取組の展開を模索しています。